

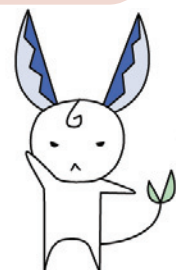
## ご先祖さまを 大切に



巨大な炎で先祖の霊を送り出す小屋名地区のお盆の伝統行事「チンチカカ」が8月15日、同所の津保川河畔で行われました。日没になると、たいまつを掲げた地元住民約300人が行列を作り、かねや

太鼓のおはやしに合わせて川沿いを練り歩きました。燃え盛る炎で周囲を真っ赤に染め上げ、参加者は、生きていることへの感謝や思いやりの気持ちを新たに、夏の夜の伝統行事を見守りました。

# あんな事、こんな事



## 生きることへの希望と勇気

関市出身の映画監督・村橋明郎さんが制作した映画「育子からの手紙」が8月16～29日、シネックスマーゴで上映されました。村橋さんは初日のあいさつで、作品に込めた思いや故郷関市への思い、関係者への感謝の気持ちを語ってくれました。同級生らも大勢駆けつけ、期間中は大いに盛り上がり、多くの方が感動の涙を流しました。今後も素晴らしい作品に挑戦されることを願います。

## 友達たくさん夏のキャンプ

タイヤチューブで川を下ったり、火おこし器で火をつけたり、昔の「お釜」でご飯を炊いたり…。郡上市明宝を拠点にキャンプ場を運営しているNPO法人こうじびら山の家の指導で、関市内の小中学生45人が「遊びと暮らしの達人になろう」と題して昔ながらの田舎暮らしなどを体験しました。自然とふれあい、仲間との冒険を満喫した3日間でした。





## 関市で日本文化を満喫

生涯スポーツ先進国であるドイツのスポーツ少年団が来日し、関市を訪れました。ドイツの訪問団は滞在中、古式日本刀鍛錬や小瀬鵜飼などを見学。また、関市スポーツ少年団の家庭に1人ずつホームステイをし、受け入れ家庭の家族と一緒にスポーツと文化の交流を深め、日本でよい思い出を作りました。

## 障がい者スポーツを考えよう

社会福祉協議会主催の「青年ボランティアスクール」が今年も開催され、興味を持つ多くの中高生が参加しました。国体推進室との連携により、障がい者スポーツについて理解を深め、自分にできるボランティア活動を見つけていました。人はだれかを助けたり、助けられたり、支えあって生きています。それが無理なく、楽しく、だれかの役に立つことができるなら言うことはありません。



## 逃げ回る魚に悪戦苦闘

武儀やまゆり東保育園の園児が、八滝ウッディランドでアマゴとイワナのつかみどりに挑戦しました。水しぶきを上げながら元気に泳ぎまわる魚を捕まえることは難しく、やっとの思いで捕まえた魚は早速塩焼きに。普段味わうことのない夏の感動体験に、園児たちは笑顔にあふれ、自然の恵みに感謝していました。

## 本が好き、人が好き

「図書館の仕事ってどんなことをするんだろう」と、図書館の貸し出しや返却、カバー張りや本の整頓など、カウンターの外側からは見えない仕事を体験する「なりきり！図書館員」が市立図書館で開催されました。参加した児童は、限られた時間の中で意欲的に手際よく作業し、多くのお客を相手に元気よく対応していました。「本が好き」と、本に関心を持つ子どもが増えることを期待します。



## こぼれ話



先日、職員研修で「岐阜県が他県より有利なところは」という質問があり、私は「東京にも大阪にも近い」ことを思い浮かべました。言うまでもなく、岐阜県、そして関市は日本の真ん中に位置し、市内富之保には日本のへそに当たる人口重心地があります。これは5年に一度の「国勢調査」によって判明するのですが、10年前の調査で初めてわがまち(当時武儀町)に人口重心地があると知ったときは「自分たちは日本の中心(重心と少し意味が違いますが)に存

在している！」と誇らしく思ったことをよく覚えています。

今年はその国勢調査があります。重心地の位置も気になりますが、このデータが雇用対策、児童福祉、介護・医療などの暮らしの分野で役立てられることを期待しています。私たちは市民の皆さん一人一人の笑顔を想像しながら調査に取り組み、これを基にみんなが関市を好きになるようなまちを作っていきたいと思えます。こんな気持ちをみんなが少しでも持てば、高齢者の所在不明というありえない事件も起こらないはずですよ。調査のご協力をよろしくお願いします。